

第19回教育編成委員会 議事録

日時：令和4年9月30日(金) 13:30~14:30

場所：下関福祉専門学校

出席者：富田 陽治 (一般社団法人山口県介護福祉士会 下関ブロック長)
花貫 一博 (社会福祉法人下関市社会福祉協議会 在宅福祉課長)
関谷 豊 (下関福祉専門学校 校長)
田中 満由美 (下関福祉専門学校 教務部長)
藤岡 恵子 (下関福祉専門学校 教務主任)
長本 幸子 (下関福祉専門学校 専任教員)
廣橋 紗也佳 (下関福祉専門学校 専任教員)
木村 薫 (下関福祉専門学校 事務局) (敬称略)

議題

1. 今年度の状況報告
2. 今年度の卒業生及び在学者状況
3. 今年度の教育目標
4. 今年度の特別授業「福祉と文化」について
5. 各委員からの意見要望

1. 今年度の状況報告

今年度は本校開校25周年となるため、25周年同窓会懇親会の開催を同窓会役員会で議題を提示したところ、役員より、今施設ではコロナ禍により厳しい状況であると報告を受け、懇親会の開催は見送ることとした。その代わりに記念として冊子を作成し、卒業生全員に配布することを決定した。来月早々に準備が整い次第配布する予定である。

留学生については、3年連続で受け入れたが、今年度はコロナ禍による入国の関係で留学生の入学者は零である。また、法改正があり養成校ルートでなくても在留資格が得られる制度が設けられ、養成校への希望者が減少している。また、全国の養成校の日本人の入学者も減少しているが、本校は今後も介護福祉士養成校としての使命を果たしていきたい。

2. 今年度卒業者及び在学者状況

1) 今年度の卒業者について

卒業生総数 22名

内訳

日本人14名(男:4名 女:10名) 留学生8名(女:8名)

就職決定者数 22名

内訳

特別養護老人ホーム 17名

障害者支援施設 1名

グループホーム 1名

通所介護 2名

老人保健施設 1名 (全て山口県内)

2) 令和4年度在学学生について

1学年 18名 男:9名・女:9名(内男女とも留学生0名)

2学年 32名 男:12名(内留学生2名) 女:20名(内留学生11名)

総数 50名 男:21名(内留学生2名) 女:29名(内留学生11名)

3) 介護職員実務者研修科について

・職業訓練委託(通学)

令和4年2月1日~令和4年8月5日 10名 修了

令和4年7月7日~令和5年1月6日 14名 在学中

・実務者研修(通信課程)

5月より開講 34名(令和4年8月1日現在)

3. 令和4年度教育目標について以下の通り1年及び2年の担任から発表をする。

§1 福祉専門職の役割を理解し、職業倫理に基づいた介護ができる。

【1学年】

介護福祉士の基本となる役割と職業倫理について理解できる。

【2学年】

利用者の尊厳と自己決定を尊重した自立支援を行うことができる。

§2 多職種の業務を知り、チームの一員であることを理解し、チームケアに参画する能力を養うことができる。

【1学年】

多職種の役割を学び、ケアに対する多職種協働を理解することができる。

【2学年】

介護実習における多職種との関わりの中で、チームマネジメントを理解し、チームケアの実践ができる。

§3 介護の基礎的知識や技術を習得し、利用者のニーズに応じたケアの実践ができる。

【1学年】

利用者を理解し、ケアの実践をするためのコミュニケーション技術や基礎的な支援技術等を習得する。

【2学年】

利用者のニーズを明確にして潜在能力を引き出し、自立支援に基づいた介護過程の展開を行うことができる。

上記の目標に対して各委員から質疑があり、それに対して各学年担任より応答する。

Q：A委員

最近施設での暴力事件等がニュースに挙がる。現場では理不尽な扱いを利用者からされつい暴力や暴言をとることがあるので、職業倫理をしっかりと教育していく必要がある。

Q：理事長

介護福祉士会において職業倫理の再教育が行われているのだろうか。

A：A委員

現在はできていなく難しい状況である。

Q：B委員

職業倫理は、つい現場の状況で忘れがちなどころがあるが、結局ここに立ち返らなければならぬ大切なことである。

Q：A 委員

潜在能力とは何をさすのか

A：教員

残存能力は、目に見える形で見ることができるが、潜在能力は、本人が諦めていたことや願望を引き出すための根拠と言える能力である。特に実習生はそのような諦めていた願望を引き出しやすい立場にあると言える。

以上、令和4年度の教育目標を承認される。

4. 今年度の福祉と文化特別授業について

令和3年度の福祉と文化特別授業の実績をもとに議事にかける。

以下の意見を各委員より頂く。

昭和の歌について委員より実際の現場で役に立つ。

職業倫理は、外部講師ならではの効果もある。

以上、今年度も引き続き同じ授業を行うことで各委員から了承を受けるが、他に組み入れたらどうかと言う授業があれば、後日の提案をお願いした。

5. 各委員からの意見要望と

Q：A 委員より・・・来年留学生の予定はどうか。

A：理事長・・・次年度は何人か入学予定者はいるが、法改正により特定技能実習生として入国ができ期間も5年あるため、安易な道を選ぶ外国人がいる。2年間学び介護福祉士としての資格を得るための留学希望者が減少している。引き続き学生の獲得に意欲的に取り組んでいく。

6. その他

・今年度、25周年記念誌を同窓会として作成し、卒業生に配布した旨を理事長から説明があり、各委員に同窓会誌を配布する。

・系列校である立修館専修高等学校のeスポーツが市報に取り上げられたことを各委員に市報配布とともに説明する。

7. 次回開催日

令和5年3月20日前後を予定。